

児童発達支援事業所における自己評価

公表： 2022年 3月 1日

事業所名 きっず・らるげっと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0		
	2	職員の配置数は適切である	8	0		
	3	事業所の設備等について、特性に応じた構造化などの配慮が適切になされている	8	0	特性に応じて布で物を覆い気が散らないようにするなど工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	0		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	0	事業所内で朝礼を毎日実施、毎月法人全体会議に全職員が参加している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	回答していただいた評価表並びにアンケートは全職員が確認している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	研修案内を共有できるようにしている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	個別支援計画作成時及びモニタリング時にニーズや課題を見直している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、各々に合わせたアセスメントツールを使用している	8	0	各々に合わせたアセスメントツールを使用している。	
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0		
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0		
	13	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	全員で集まる場を設けて立案している。	
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	長期休みはプログラムを変更している。	
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	職員が利用者の変化に気付くと全職員へ情報共有が行われている。	
16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	毎日朝礼を行い確認と共有をしている。		
17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2	毎日できていないが翌朝の朝礼で必ず共有している。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	連絡帳、業務日誌に記録を取っている。	
	19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	コロナ禍の為に必要に応じて電話やテレビ電話でモニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	20 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0		
	21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	0	保育所等訪問支援員及び相談支援専門員と連携している。	
	22 必要に応じて、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	保育所等訪問支援を行い担任教諭と共有して支援を行っている。	
	23 必要に応じて、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0		
	24 児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関での研修を受けているか	6	4		CDS（全国児童発達支援協議会）の研修を受けている。
	25 （自立支援）協議会や児童部会へ積極的に参加している	8	0	毎月児童部会に参加している。	
	26 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	連絡帳等でやり取りを行い、送迎の際に話をする場を設けている。	
27 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	8	0	子どもや保護者の様子を見て個別に対応している。	今年度はコロナのため中止となり、個別に対応してきた。次年度はコロナ禍でもペアレント・トレーニングを実施できるよう工夫し実施する予定。	
保護者への説明責任等	28 契約書及び重要事項説明書、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	契約時に行っている。	
	29 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	1	コロナ禍の為に保護者と直接会うことが難しい場合は電話で対応している。	
	30 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	電話相談、事業所内での相談、自宅訪問による相談を行っている。	
	31 保護者会等の開催により保護者同士の交流の場が設定されている	6	2	親子イベントを開催している。	コロナ禍の為に室内や集団での開催が難しいがテレビ電話なども取り入れながらできるかを検討していく。
	32 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	迅速に対応できるようスタッフ間での報連相の体制を整えている。	
	33 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	毎年ニュースを発行し、ホームページよりブログ等でも発信している。	
	34 個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	電子情報はPCのセキュリティ管理を厳重にし、書類は鍵付きロッカーに保管している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	ご家庭や利用児に合わせて行うよう配慮している。	
	36	事業所の行事に地域住民と交流する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	5		一昨年はサルガク祭に参加したが今年度はコロナ禍で中止となった。
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0	定期的に備品の在庫及び避難経路の安全を確認し訓練を実施している。	
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	避難訓練や災害訓練など毎年二回行っている。	
	39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0		現在てんかん発作のある利用者はいないが契約時に確認している。
	40	食物アレルギーのある子どもについて、アセスメントに基づく対応がされている	8	0		
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	事業所内及び社内全体で共有している。	
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	年に1度法人全体で虐待防止研修を実施している。	
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0	該当する利用児については保護者に説明し、支援計画に記載している。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。